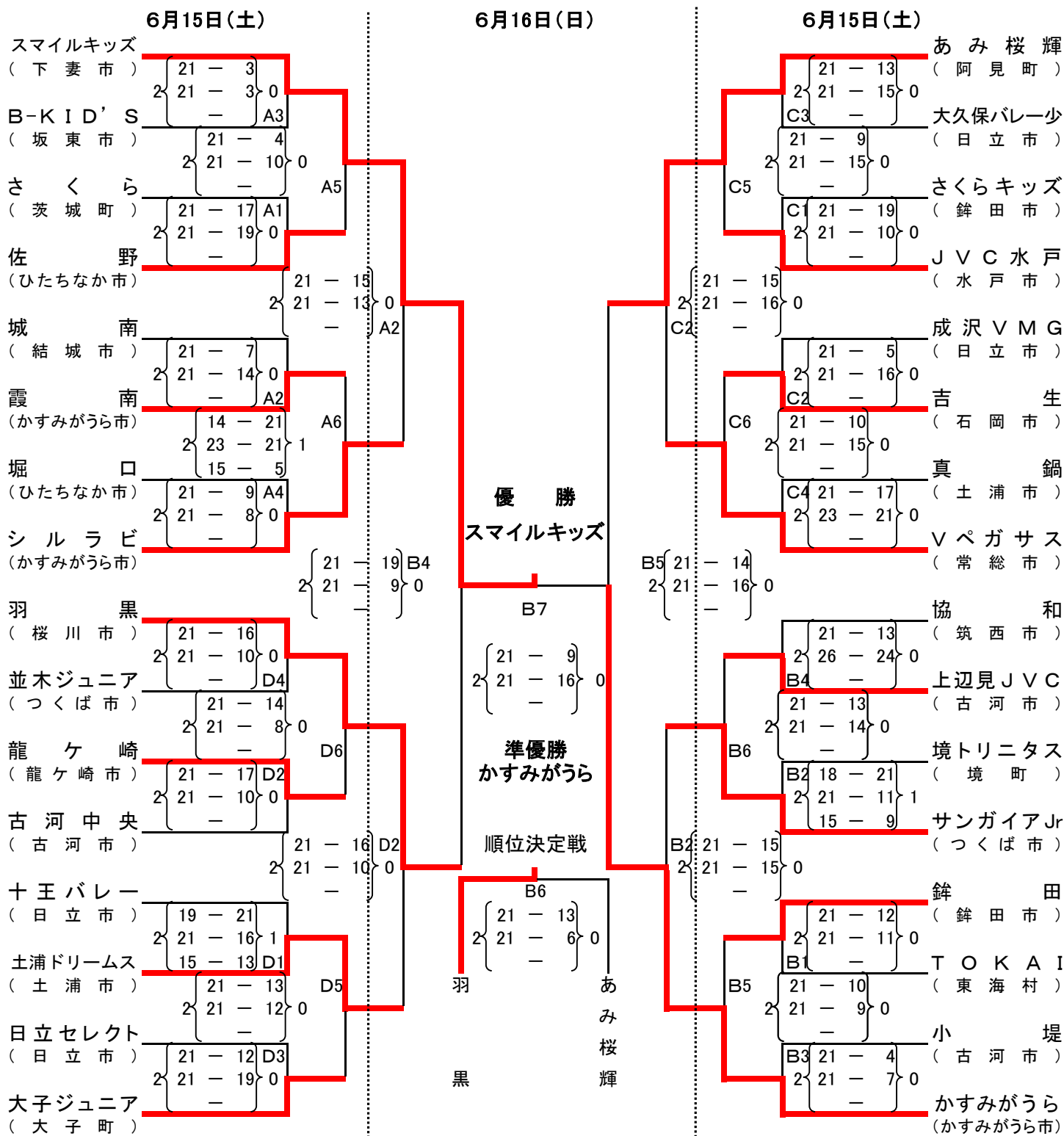


かんぽ生命ドリームカップ 第39回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会結果

期 日 令和元年6月15日(土)・16日(日)
会 場 結城市かなくぼ総合体育館 A・B・C・Dコート
結城市立結城南中学校体育館 E・Fコート

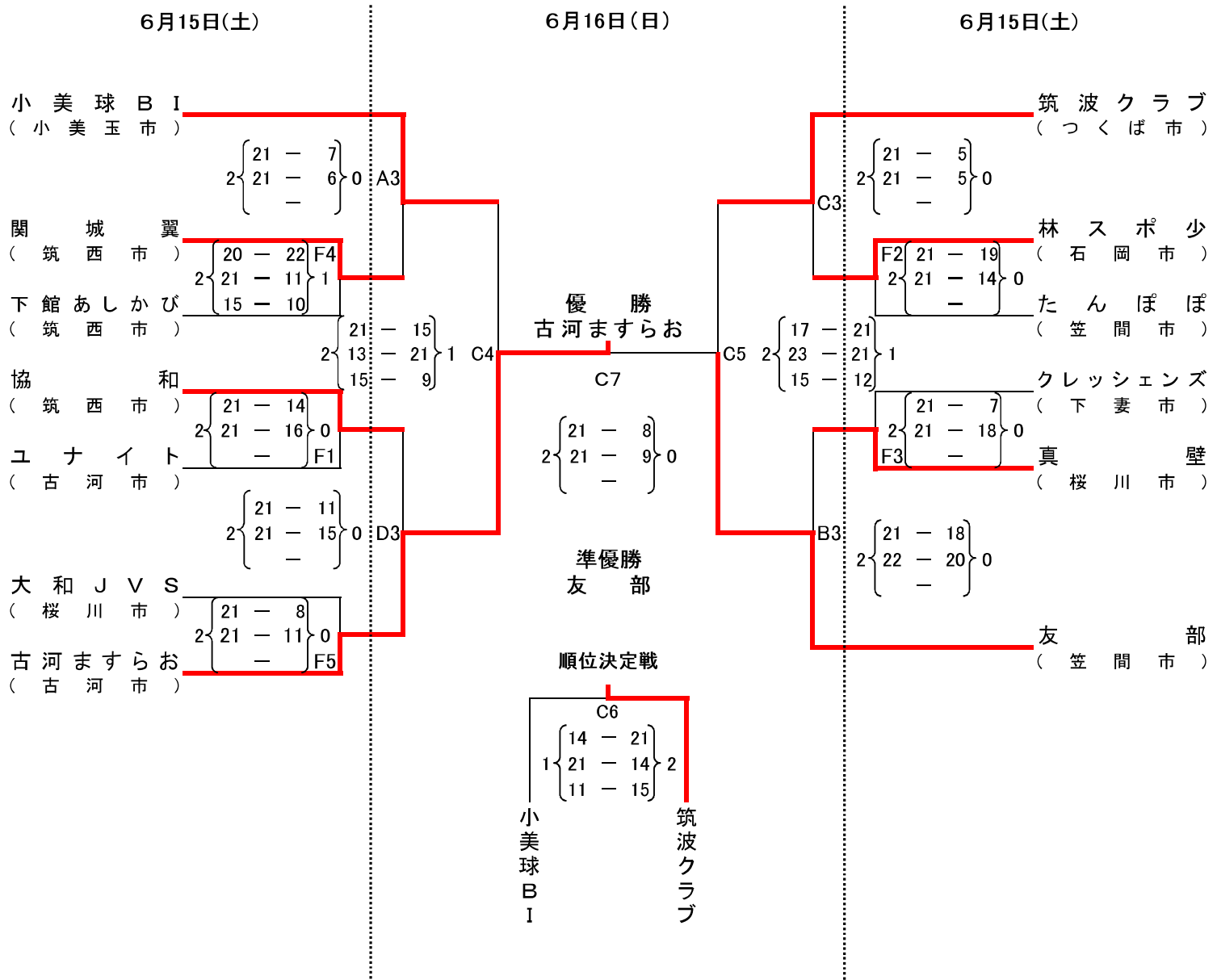
【 女子の部 】 試合球：ミカサ



かんぽ生命ドリームカップ 第39回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会結果

期 日 令和元年年6月15日(土)・16日(日)
会 場 結城市かなくぼ総合体育館 A・B・C・Dコート
結城市立結城南中学校体育館 E・Fコート

【 混合の部 】 試合球:モルテン



かんぽ生命ドリームカップ

第 39 回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会戦評

男子の部決勝戦

W i n k 対 上山川

いよいよ県大会男子決勝が「上山川」2番のサーブから始まる。今大会はTTOが7点14点で行う事になり、このTTOがどのように左右されるか？

序盤は「上山川」1番が打ち込み、7点のTTOまで進み、8対4の所で「W i n k」よりタイムアウトが掛けられる。「W i n k」点数を離されるが13対11まで追い付き「上山川」タイムアウト。13対13までブレイクをしたが14対13でTTO。

中盤からお互いの力を出し19対17で「W i n k」がタイムアウトを取る。その後、選手交替をし、エースの打ち合いとなるが、「W i n k」サービスエースを取り、24対22で第1セットは「W i n k」が先行する。

第2セット「W i n k」1番のサーブから始まる。

「上山川」4点まで連続で先行をするが、「W i n k」も後には引かず、「上山川」のミスも続き、5対5で「上山川」がタイムアウトを取る。そのまま7対6でTTO。「W i n k」の攻防は続き13対8で「上山川」タイムを先行した。

中盤TTO後、「上山川」15対13まで追い付き、「W i n k」がタイムを取るも、17対13「上山川」選手交替、「W i n k」の攻防は続き、「上山川」も力を出し切るが「W i n k」が21対18で優勝を飾る。

(戦評：富島)

女子の部決勝戦

スマイルキッズ 対 かすみがうらJVS

第1セットは、両エースのサーブ、スパイクで得点を重ねる前半戦の内容となりました。両チームともミスが少ない中でわずかなスキをみてペースをつかんだのが「スマイルキッズ」でした。なかでも、1番、2番両エースのサーブ、スパイクが冴え渡り、気が付けば21対9の一方向的な結果となり、「スマイルキッズ」が先取しました。

第2セットは、中盤戦まで「かすみがうら」のエース1番のサーブ、スパイクの得点が光り、一進一退の攻防が続き互角の戦いとなりました。13対10と「かすみがうら」のリードで反撃ムードを感じさせましたが「スマイルキッズ」6番の連続サービスエースにより、ムードを絶たれた感があり、その後サーブ、レシーブ、スパイクと「スマイルキッズ」の総合力の高さ、安定感を見せられ21対16とストレートにて「スマイルキッズ」が危なげなく全国大会出場を決めました。

(戦評：稲田)

混合の部決勝戦

古河ますらお 対 友部バレーボールスポーツ少年団

第1セットは、「ますらお」のサーブから開始。

1番のサーブと4番のスパイクで7対4、TT0をむかえる。「友部」1番のスパイクで試合の流れを切るが、「ますらお」がボールをつなぎ点差が開き、21対8で「ますらお」が第1セットを取った。

第2セットも「ますらお」の勢いは止まらず、1番のサーブが続いた。「友部」もレシーブをつなぎ、1番のスパイクで流れを切ろうとするが、「ますらお」の粘り強いレシーブがつながり、1番と4番のスパイクやブロックで流れをつくった。サーブもはしり21対9で「ますらお」が2セット目を取り、セットカウント2対0で「ますらお」の勝利。

(戦評：坂上)